

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和4年10月20日 第166号

彼岸花を見に行ってきました

事務所そばのお宅の庭に彼岸花が咲いているのを見つけました。今年はいつまでも暑い日が続いていましたが、やっと秋の到来を実感することができました。あの独特の花の形や、花の少ない季節に唐突に咲いていることに気づくようなあの雰囲気がお気に入りです。ネットで調べてみると県内にも多くの彼岸花の名所があるようですが、今回は9月下旬に茂木町の城山公園に行ってきました。



見上げた全面が彼岸花。

公園内の看板を見たところ、この城は今年の大河ドラマで市原隼人さん演じる八田知家の治める城だったそうです。宇都宮氏の子供で、茂木の「地頭」でもあったのですね。

昨年までであれば一切記憶に残らなかったでしょうが、今年だからこそすぐに誰のことか分かりましたので、こちらもタイミングがぴったりでした。

近くの駐車場からシャトルバスで到着すると、いきなり斜面一面の彼岸花に迎えられました。タイミングもちょうど良かったようで、満開の花を堪能できました。

彼岸花の中を歩くルートはしっかりと整備され、進行方向も分かりやすく案内されており、茂木町のやる気を感じさせてくれました。



見下ろす一面も彼岸花です。



南国っばい生り方をします。

今年初めて植えてみました青パパイヤが先日無事に収穫でき、炒め物にしていただきました。春先に園芸店で苗を見かけ購入しました。が、本当に栃木でもパパイヤが育つかという実験的な感覚でした。ところが苗の成長スピードはすさまじく、約半年で高さ1.5mほどに育ち、根元の茎の直径は10cmもあります。20cmくらいの青パパイヤが5つ収穫できました。大成功です。

我が家の畑

今春就職した新入社員の意識調査

今春就職した新入社員の意識調査結果が、(一社)日本能率協会から公表されました。新入社員に限らず 20 代前半までの若者達の仕事に対する捉え方の傾向を把握し、彼らに対する会社での接し方を検討する良い資料となります。

◆理想の上司・先輩の人物像とは

「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩(71.7%)」が1位で、2012 年以降の調査で過去最高となりました。

一方、2012 年、2014 年に数値の高かった「場合によっては叱ってくれる上司・先輩」や「仕事の結果に対する情熱を持っている上司・先輩」は、今回の調査では大幅に数値が下がっています。

◆仕事をしていくうえで不安なこと

「上司・同僚など職場の人とうまくやってくれるか(64.6%)」が1位となりました。続く2位は「仕事に対する現在の自分の能力・スキル(53.4%)」となっています。

社内の人間関係に不安を感じている一方で、社外の人間関係については「社外の人との人脈を築けるかどうか」が 8.1%に留まり、社外の人脈づくりに対する不安は年々減っています。

◆抵抗感のある業務の種類

仕事をしていくうえでの抵抗感について尋ねたところ、「上司や先輩からの指示が曖昧でも、質問しないで、とりあえず作業を進めることに「抵抗がある」(「抵抗がある」+「どちらかと言えば抵抗がある)」との回答が、82.7%で1位でした。

「指示が曖昧なまま作業を進めること」に対しては、8割が抵抗を感じており、質問のしやすい風土や対応が求められています。



どの項目も、昔の価値観で言えば「甘えていける」の一言で終わってしまいましたが、それでも頑張って仕事をして貰わなければなりません。以前から「最近の若者は指示待ち人間ばかりだ」と言われますが、実は的確に指示をすれば、昔の若者よりも早くしっかりと仕事をやり遂げる人が多いそうです。

本来、若手を指導育成するのが、経営者や上司先輩の役割です。相手に伝わる方法を試行錯誤しながら育成し、自分で考えて行動できるところまで成長を見守ってください。